

ユニット科目 どのようなことを学んでいるの？

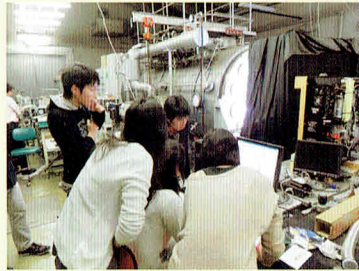
※ユニット科目で行っている内容の一例です

観測

パイロットバルーンを飛ばし、その動きを観測機器で追跡することによって、上空3000m程度までの風向・風速を測定します。その後、得られたデータを解析・考察し、結果のプレゼンテーションを行います。



高層気象観測



国立環境研究所での実習

実習

外部の研究所などでの実習・見学や最新の学術論文紹介を通して、大気科学・地質学などの基礎的な分野から資源工学などの応用分野まで包括的に地球科学について学びます。

地球科学コース



実習

手賀沼・研究船(東京湾)での実習。各グループでテーマを設定し、それに沿った調査データをとりまします。現場での調査手法や器材・道具の使い方の訓練ができます。



手賀沼実習

東京湾船上実習

環境生態学コース



統計の講義

講義

調査や実験のデータを解析する際、統計の手法も多く使われます。統計に必要な知識を基礎から学びます。実習での調査で、自分たちでとったデータを使って、統計にかけることで効率よく知識を定着させます。

環境科学を学ぶ上で必要となる考え方や知識、技術を一連の流れで効率よく習得します



池の水の全窒素・全リンの分析

実験

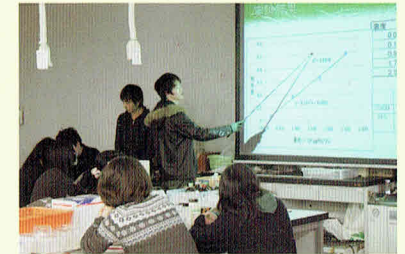
いろいろな分析機器を用いて、池の水に含まれる全窒素・全リン、コーヒーに含まれるカフェイン、日本酒・ワイン中のエタノールなどを定量します。ここで習得した知識と技術は、4年次の卒業研究でダイレクトに活用できます。

環境化学コース



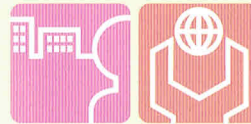
セミナー

各グループで実験結果を整理し、議論・考察して皆の前で発表します。分かりやすいプレゼン資料の作成、説得力のある発表、活発な質疑応答を通して、実験内容の理解を深めると同時にコミュニケーション能力を高めることができます。



実験結果のプレゼンテーション

環境管理・創成科学コース



実習

(環境管理分野)

「まちあるき」。意識をもって街を見て回ることで、その地域の魅力や抱えている課題を見出します。事前に下調べを行い、統計手法を学ぶことで、設定したテーマについて数値に基づいた客観的な議論を心がけます。



浅草まちあるき



エネルギー変換実験

実験

(創成科学分野)

[太陽電池で発電→水の電気分解→燃料電池→プロペラを回す]このユニットを作成し、それぞれ電流・電圧の測定します。様々な発電の仕組みを詳細に学び、次世代エネルギーについて理解を深めています。